

国立大学法人名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

## 地域医療と地域包括ケアを対象とした多職種情報共有クラウドプラットフォームシステム「NU-Med ライフケアエコシステム」の社会実装

2014年6月に医療介護総合確保推進法が公布。2018年度から介護予防、日常生活支援を対象とした新事業が始まり、少子高齢化に伴う社会変革は地域の喫緊の課題となっています。特に高齢者・障がい者の支援は医療と介護・福祉の連携（地域医療や地域包括ケア）が不可欠で、医師、薬剤師、看護師、介護・福祉職、行政職員といった専門職同士がつながる多職種情報共有 ICT ネットワークを地域単位で確立することが求められています。

そこで、名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 先端医療・臨床研究支援センターの水野正明教授と杉下明隆助教らは、生涯に渡る健康・医療を支える仕組みを構築すべく、研究開発を進めました。そして、地域ニーズをキャッチアップした情報共有基盤、医療情報が扱えるセキュリティ基盤、2次医療圏間や県間で情報連携ができる地域間連携基盤を実用化し、「NU-Med ライフケアエコシステム」を社会実装しました。

「NU-Med ライフケアエコシステム」は、医療・健康情報の自己管理が可能な仕組み「利用者同意確認管理システム（外国出願「PCT/JP2016/072135（日本特許 06128543）」）を中核として、クラウドサービス事業者が事業展開しやすいプラットフォームを実現しています。

このプラットフォームは、「NU-Med 電子連絡帳（電子@連絡帳）」や「NU-Med 電子支援手帳（電子@支援手帳）」、「災害時活用オプション」、「バイタル収集オプション」、「電子審査会オプション（介護認定電子査会システム）」で構成された地域医療連携・地域包括ケア統合型システムと、健康医療信託システムで構成されています。これらのソフトウェア等の著作物・ノウハウや関連商標4件を登録し、特許と合わせて平成29年4月より、サービス事業者に提供を開始しました。

これまでの実績としては、平成30年度には愛知県を中心に基礎自治体47地

域と5機関にライセンスし、約7,400施設、約13,000人の専門職が、多職種情報共有ICTネットワークの中であつながら、地域医療・地域包括ケアシステムが実践運用されています。さらに大学発ベンチャーである「株式会社NU-Medライフケアシステムズ」を設立し、継続的な事業体制の強化を図りました。

来年度は60地域以上へ拡大していき、課題解決型の社会基盤システムとして社会実装が加速することを期待しています。

詳細情報のアクセス先：

〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町、ナショナル・イノベーション・コンプレックス

名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 知財・技術移転グループ

電話：052-747-6847、E-mail：chizai@aip.nagoya-u.ac.jp

## NU-Medライフケアエコシステム



「NU-Med ライフケアエコシステム」の製品構成